

# 徳島バッテリーバレイ構想、始動!

新たな産業戦略として県が推進する「徳島バッテリーバレイ構想」。それぞれの立場から、その内容や可能性についてお話を伺いました。



## 材料メーカーとしての実績を、新たな産業の発展に役立てたい。

日亜化学工業 株式会社  
次世代材料開発グループ グループ長 藤井 孝浩さん

### 技術力と信頼性の正極材料 若者たちの雇用創出へ

日亜化学工業では、蓄電池の一つであるリチウムイオン電池の「正極材料」を生産しています。リチウムイオン電池はスマートフォンやモバイルパソコン、電動工具、電気自動車、エネルギー貯蔵用など、私たちの身近にあるさまざまな製品に使われており、今後もさらに需要が高まることが予想されています。

県が推進する「徳島バッテリーバレイ構想」では企業誘致による産業の集積を目指されていますが、それが実現すると企業同士の連携力が高まり、先進的なノウハウが積み重なっていくと思います。

新たに蓄電池産業に進出する企業も増え、雇用創出にもつながるはずで

当社は1996年にコバルト酸リチウムの生産を開始し、その後はメーカーの要求をもとに、正極材料の開発に力を注いできました。蓄電池の用途によって求められる性能も変わりますが、品質や安全性を高め続けてきたことでメーカーとの信頼関係を築き、昨年の売り上げは2,150億円に達しています。



リチウムイオン電池用の正極材料

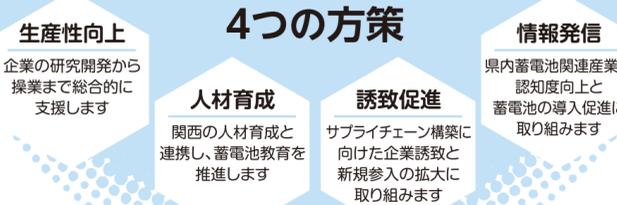
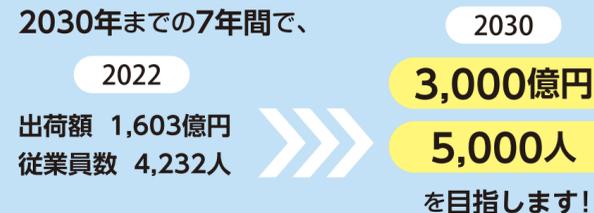
す。当社でも2030年には、蓄電池分野に携わる従業員が今の1.6倍にあたる約1,300人にまで増えると予想しています。若者たちが誇りを持って働ける環境づくりに貢献できるよう、私たちが頑張ります。



日本有数の材料メーカーとしても活躍

## 徳島バッテリーバレイ構想

蓄電池関連産業を新たな産業の柱とするため、関連産業の集積を目指し、雇用の創出と県民所得の向上を図ります



## 徳島のポテンシャルを活かし、世界に誇る蓄電池産業の集積地に。

徳島県副知事 村上 耕司

### 未来を担う産業を創出する

徳島はもともと製造業が強い県ですが、今後どのような産業を伸ばしていくかを検討する中で浮上したのが「蓄電池」です。県内には国内有数のシェアを誇る材料メーカーや製造メーカーが活躍するなど、蓄電池産業が集積するための条件が整っていました。ちなみに、徳島における蓄電池関連の製造出荷額は2022年で約1,600億円となっており、全国4位を誇っています。

また、脱炭素社会の実現に向けて化石燃料からの脱却が図られる中、蓄電池の世界市場は2050年に100兆円に達することが見込まれています。国も蓄電池産業を成長産業と位

置づけ、企業の成長を後押しするための戦略が策定されました。

さらに、日本全体を見ると関西圏に蓄電池産業が集積しており、徳島は企業立地の面でも優れています。こうした数々の優位性を活かし、徳島新時代に向けて新たな産業を創出する試みが「徳島バッテリーバレイ構想」です。

### 世界の産業を支える徳島に

本構想の具体的な目標として、2030年までに蓄電池関連の製造出荷額を、現在の約2倍となる3,000億円に設定しました。さらに、従業員数も1,000人近く増やすことを目標としています。

この目標を達成するために掲げる方

策は大きく分けて4つです。まずは現在、県内で活躍している企業の「生産性」をさらに向上させ、「企業誘致」によって関連分野の企業を徳島に集積させます。また、成長産業を担う「人材育成」を行うとともに、優秀な人材を徳島に呼び寄せることも重要です。4つ目の「情報発信」では、さまざまな蓄電池設備を社会実装し、県民の方々にも蓄電池産業の先進県であることを実感していただきたいと考えています。

本構想は、県民の所得向上や雇用促進だけでなく、わがまちを誇りに思えるシビックプライドの醸成にもつながります。世界の基幹産業を支える県になれるよう、今後もしっかりと取り組んでまいります。



## 磨き上げた技術や人材が、徳島から世界に羽ばたいています。

プライムプラネット エナジー&ソリューションズ 株式会社  
経営戦略本部 専任部長 森島 龍太さん

### 自動車用の電池を製造

当社はトヨタ自動車とパナソニックの合弁会社として、2020年に誕生しました。主に車載用の電池を製造しており、国内に8拠点(うち生産工場4拠点)、中国に1つの生産工場があります。徳島工場では2022年よりハイブリッド自動車の電池を製造しており、昨年度はすべての工場を合わせて約199万台を出荷しました。徳島は蓄電池産業が

盛んな関西圏と陸路で結ばれているほか、地元にも大手の材料メーカーがあるなど、蓄電池産業を発展させるための好条件がそろった環境だと言えます。

### 徳島工場が世界への出発点

国が官民による蓄電池産業戦略を策定したのが一昨年のことですが、全国の自治体の中でも、徳島はいち早くその方向性を活かした成長戦略を練っていると感じます。

当社では徳島工場をマザープラントとして位置付け、最新の設備を徳島に導入し、そこで磨き上げたプロセスを国内外の工場に展開する形をとってきました。

海外展開の際には、徳島工場のスタッフも現地のプロジェクトに参加しています。「徳島バッテリーバレイ構想」が実現することで、さらなる新技術や人材が、徳島から世界へと羽ばたいていくはずで



最新の設備が導入されている徳島工場



徳島工場で作られた車載用の蓄電池

## 蓄電池について学んだら、未来のイメージが変わりました。

富岡西高等学校 1年  
西村 祐紀さん 松本 哩沙さん 折原 慧さん (写真左より)

### 蓄電池の授業を受けて

今年の7月に「蓄電池」をテーマにした授業を受けました。これまでも「バッテリー」という言葉はよく耳にしてきましたが、今回の授業でそれがどのように作られ、どんな目的に使われているのかを改めて知ることができました。

たとえば、蓄電池の一種であるリチウムイオン電池は、スマートフォンなどの身近にある製品だけでなく、潜水艦や人工



「蓄電池のイメージが広がりました」と皆さん



8月26日に大阪で行われた蓄電池の実習にも参加

衛星など、深海から宇宙まで幅広く使われています。また、バッテリーは用途によってさまざまな形をしていることも初めて知りました。8月末には大阪で開催された蓄電池の実習にも参加させていただき、その仕組みを分かりやすく学ぶことができました。

今回の授業では、県が「徳島バッテリーバレイ構想」に取り組んでいることも

知りました。AI化が進む中で蓄電池は欠かせないものになっていくと思いますし、災害時にも蓄電池の活用が期待されています。県の構想でも、徳島にしかできない工夫を取り入れることで、色鮮やかな未来が拓けていく気がします。私たちの学校がある阿南市でも、日

亜化学工業が電池の材料をつくっていると聞きました。これからは徳島が力を合わせ、蓄電池産業が発展していくことを願っています。

紙面に関するお問い合わせ  
県企業支援課 ☎088-621-2326  
☎088-621-2853 詳しくはこちら

## ふるさと発見! あわっ子文化大使通信

あわ文化を次の世代に伝承し、徳島の魅力を県内外に発信する「あわっ子文化大使」のレポートです。



### 天目一神社と大クス・大イチョウの木

●あわっ子文化大使リポーター  
山口 蓮太郎さん

母校である上板町立高志小学校には、まるで学校の敷地の中にあるかのように天目一神社が隣接しています。一説によると、この神社は平安時代にはすでに建てられていたと言われています。ひっそりと建つ二基の鳥居と小さな祠がある神社で

す。そして神社の中には大クスと大イチョウの木があります。この大木は生命力が強く、生きた化石と言われるほど長生きの木です。

戦後の貧しい時代、学校にお弁当を持ってこれない子供たちが天目一神社



天目一神社

の祠に集まって昼食の時間が終わるまで身を寄せ合っていたと、母が地域の人から

聞いたそうです。この話を聞いて、天目一神社の大木は高志の歴史と子供たちを見守ってきたんだと思いました。今、この2本の大木が見ているのはどんな景色でしょうか。これからもずっと天目一神社の大クスと大イチョウの木には高志の平和な生活と元気な子供たちの成長を見守って欲しいと願っています。

●皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしています。  
県義務教育課 ☎088-621-3054 ☎088-621-2882

## 阿波とん豚の烏龍茶煮



「阿波とん豚(とん)」は、イノシシの美味しい特徴を受け継ぎ、きめが細かく鮮やかな肉色、ジューシーな肉質、旨みのある脂肪にこだわった最高級ブランド豚です。

「阿波とん豚」を取り扱っているお店はこちら

- 作り方
  - ①鍋に豚肉と豚肉ががぶるぐらゐのウーロン茶を入れて沸かし、弱火でじっくり25分程煮込む。
  - ②ビニール袋などに★印の調味料を入れ、①の豚肉とゆで卵を入れて冷蔵庫で一晩なじませる。
  - ③軽く温めなおし、好みの厚さにスライスして皿に盛り付ける。
- 材料【2人分】
  - 豚ロース(ブロック肉)400g ●ウーロン茶 適量
  - ゆで卵2個 ●濃口醤油50cc ●酒25cc
  - みりん25cc ●おろししょうが 小さじ1
- レシピ提供
 

県とくしまブランド推進課

## お知らせ

### みんなで取り組もう! ワンヘルス(One Health) 9月は「とくしまワンヘルス推進月間」です

●ワンヘルスとは?  
人のかかる感染症の約6割が、動物から人へ感染する「動物由来感染症」です。近年、この病原体を持つ野生動物、媒介生物などの生息域が、森林破壊や気候変動で人の生活圏と重なってきて、人に感染する機会が増えています。「人の健康」を守るためには、「動物の健康」も「環境の健全性」も守る必要があります。この3つの健康を1つのものとして守っていくという考え方が「ワンヘルス」です。

●何をすればいいの?  
次のような行動もワンヘルスの取組になります。

- ペットを適正に飼う
- 感染症を防ぐために手洗いやうがいをする
- 草むらに入るときは虫除けをする
- 省エネに努める

[問] 県安全衛生課 ☎088-621-2229 ☎088-621-2848 詳しくはこちら



詳しくはこちら